

お知らせ

1. 東淀川版「入院時情報提供用紙」を更新しました。

・東淀川区内の病院へ「入院時情報提供用紙」の内容についてアンケート調査を実施し、退院支援に役立つ情報を新たに追加しています。在宅医療・介護連携相談支援室ホームページとこぶしネットホームページ (<https://www.higashiyodo-med.org/zaitakukaigo/documents.html>) に掲載しています。ご活用ください。



2. 介護支援専門員対象のアンケート調査にご協力をお願いいたします。

・「ケアプラン終了者に関するアンケート調査」を7月に実施させていただきます。
東淀川区民の5割以上が「住み慣れた場所で、最後まで過ごしたい」と希望されています。
現在どのような場所で最期を迎えているか現状把握を行い、在宅医療・介護連携推進にいかしていきたいと思っております。

第1回「東淀川区在宅医療連携研修会」開催します！

「コロナ時代、知っていますか？地域でおこなわれていた支援活動」

「感染したら・・・」「撤退」という声を耳にしました。医療・介護の専門職がコロナ禍でどのような活動をしていたのか、今いちど知っていただきたいと思い企画しました。

日 時：令和4年7月14日（木）午後2時～午後3時30分

対 象：医療・介護関係者

場 所：東淀川区医師会館 3階で座学とZoom

1) 「第5波・第6波における自宅療養者への支援活動について」
東淀川区役所 保健副主幹兼保健福課担当係長
青木 直美 氏

3) 「開業医における新型コロナウイルス感染症の対応について」
東淀川区医師会 副会長 辻クリニック
院長 辻 正純 先生

2) 「健康観察事業における訪問看護師の支援の実際」
訪問看護ステーションあんさんぶる
東淀川サテライト リンク 管理者 我妻 いづみ 氏

4) 情報共有・意見交換

申込みは
東淀川区医師会
まで。

～こんな相談がありました。皆さんならどう支援しますか?!～

相談内容

区役所生活支援課より相談
80代男性、独居 物とられ妄想あり、自宅前で排泄したり、大声で騒ぎ警察が出動することもある。
病院受診を勧めるが「どこも悪くない、病院には行かない」という。精神科で往診していただけの先生はいますか。
高血圧・糖尿病の既往あり。



- ◆他にどのような情報が必要ですか。
- ◆あなたならどのような支援をしますか。

この方には、ケアマネジャー・訪問介護の支援が入っていることがわかりました。
支援者間で情報共有をするために、地域ケア会議の開催を提案し、地域包括へ連絡をしました。
地域ケア会議には、精神科に特化した訪問看護ステーションにも参加いただきました。実際にケアマネジャーと訪問され、支援方法についてアドバイスをうけました。
支援者の役割分担・支援方法・関わり方等について話し合いをし、現在少し落ち着いた生活をされています。
支援者は一人で抱え込まないことが大切だと感じた事例でした。